

観点： 1【知識・技能】 2【思考・判断・表現】 3【主体的に学習に取り組む態度】

歴史的分野

指導単元	観点	単元の評価規準(学習評価表)	具体的評価規準(おおむね満足 B)	評価方法・場面	弱点克服
共通事項	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加し、意欲的に学ぼうとしている。 教科書や資料集などを活用して、意欲的に調べようとしている。 ノートやプリントを通して課題をしっかりと仕上げる事ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で、質問や発言ができる。 板書をノートにきちんと写すことができ、提出できる。 ノートやプリントを通して課題を仕上げ、提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 ノート プリント 課題 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 ノートやプリントの整理
古代までの日本1 [世界の古代文明と宗教のおこり]	2	<ul style="list-style-type: none"> 文明が発生する要因や国家が形成されていく過程を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 原始時代と古代国家が誕生した時代の違いについてや縄文時代と弥生時代の相違点について、いくつかのキーワードを用いて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート プリント 小テスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 質問教室 ノートやプリントの整理
古代までの日本2 [日本列島の誕生と大陸との交流]	2	<ul style="list-style-type: none"> 原始時代と古代国家が誕生した時代の違いについてや縄文時代と弥生時代の相違点について、いくつかのキーワードを用いて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 原始時代と古代国家が誕生した時代の違いについてや縄文時代と弥生時代の相違点について、いくつかのキーワードを用いて説明できる。 		
(4～5月)	1	<ul style="list-style-type: none"> 倭国、邪馬台国、大和朝廷がどのような特色をもっていたか、またどのような形で中国と関係していたかについて理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 倭国、邪馬台国、大和朝廷にはどのような特色があるかまとめることができ、中国と関係していたことについて説明することができる 		
古代までの日本3 [古代国家の歩みと東アジア世界]	2	<ul style="list-style-type: none"> 墾田永年私財法がなぜ出されたのか、また、その歴史的意義は何かについて説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 律令制度は、農民への負担が大きく、その結果、律令制度が崩れる原因となる法律を出さざるをえなかったことについて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート プリント 小テスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 質問教室 ノートやプリントの整理
(6～8月)	2	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥・天平文化について選択した項目を調べ、飛鳥・天平文化の特徴についてまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥・天平文化について、その特徴を資料からまとめることができる。 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> 聖徳太子の政治や大化改新後の政治が大和朝廷の頃の政治とどのような点が違うのかについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聖徳太子の政治・大化改新後の政治の仕組みと大和朝廷との違いやその特色について理解できる。 		

中世の日本 1 [武士の台頭と鎌倉時代] (9～11月)	2	・武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していった理由を土地制度の変化などから考察することができる	・武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していった理由を土地制度の変化などから考察することができる	・ノート ・プリント ・小テスト ・定期考査	・未提出者への連絡 ・質問教室 ・ノートやプリントの整理
	2	・武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していった理由を土地制度の変化などから考察することができる	・文章資料を活用し、武士社会の特色や幕府政治の変化を説明することができる。		
	2	・武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを説明することができる	・主従関係に基づく武家政治の特徴と執権政治の展開による武家政治の強化の過程がわかる。		
中世の日本 2 [東アジア世界とのかわりとかかわりと社会の変動] (11～1月)	2	・元寇の原因と結果・影響について、アジア地域の動きと国内の政治状況を背景に推論し、説明できる。	・元寇が、御恩と奉公の主従関係を崩す要因をつくった事を説明できる。	・ノート ・プリント ・小テスト ・定期考査	・未提出者への連絡 ・質問教室 ・ノートやプリントの整理
	2	・元寇に関する史料から、日本武士団と元軍との戦法のちがいを読み取り、発表することができる。	・図や史料から戦法の違いに気づくことができる。		
	1	・元寇の原因と、それが鎌倉幕府の政治に及ぼした影響が理解できる。	・主従関係に基づく武家政治の特徴と執権政治の展開による武家政治の強化の過程が理解できる。		
近世の日本 1 [ヨーロッパ人との出会いと全国統一] (2～3月)	2	・近世の歴史的事象や人物の行為について諸資料を多面的・多角的に考察し、その目的を自分なりに推察できる。	・信長・秀吉の政策の新しさに関心をもち、彼の人物像を意欲的に調べ発表しようとする事ができる。	・ノート ・プリント ・小テスト ・定期考査	・未提出者への連絡 ・質問教室 ・ノートやプリントの整理
	2	・図や史料から、政策や歴史的事象について調べ、まとめることができる。	・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、信長、秀吉による統一事業と当時の対外関係に関する様々な資料を読み取り、図表にまとめることができる。		
	1	・安土・桃山時代の特徴をつかみ、政治・社会の大きな変化について理解できる。 ・近世の歴史的事象を多面的・多角的に理解できる。	・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解し、その知識を身につけている。		

地理的分野

指導単元	観点	単元の評価規準(学習評価表)	具体的評価規準(おおむね満足 B)	評価方法・場面	弱点克服
共通事項	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加し、意欲的に学ぼうとしている。 教科書や資料集などを活用して、意欲的に調べようとしている。 ノートやプリントを通して課題をしっかりと仕上げることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で、質問や発言ができる。 板書をノートにきちんと写すことができ、提出できる。 ノートやプリントを通して課題を仕上げ、提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 プリント 課題 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 プリントの整理
世界の姿 (4月)	2	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を緯度と経度、季節のちがい時差、水陸の分布をもとに多面的・多角的に察している。また、地球儀と世界地図のちがいについて考察している。 世界の地域構造を、おもな国々の名称と位置・州や大陸をもとに多面的、多角的に考察している 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を緯度と経度、季節のちがい、時差、水陸の分布をもとに多面的・多角的に理解している。また、地球儀と世界地図のちがいについて理解している。 おもな国々の名称と位置、面積などをもとに、世界の地域構成を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 小テスト 定期考査 ワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 質問教室 小テスト プリントの整理
	2	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を緯度と経度、季節のちがい時差、水陸の分布をもとにとらえるために、地球儀や世界地図を活用する基礎的な技能を身につけている。 世界のおもな国々、州や大陸の名称と位置をとらえるために、地球儀や世界地図を適切に活用し、世界の略地図をかくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置を緯度と経度で表したり、簡単な時差の計算をしたりすることができる。 基準となる緯線、経線との位置関係をおさえながら、世界の略地図を描くことができる 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を緯度と経度、季節のちがい、時差、水陸の大まかな形状と位置関係をもとに理解し、その知識を身につけている。 世界の地域構成をおもな国々の名称と位置、州や大陸をもとに理解し、その知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 緯度と経度、北半球と南半球、時差、本初子午線と日付変更線、六大陸と三大洋などの用語について説明できる。 世界の白地図に、おもな国々の名称を記入したり、授業プリントにおもな国々の特徴や地域区分などをまとめたりすることができる。 		
日本の姿 (5月)	2	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現して 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の中で日本の位置を理解し、絶対的位置や相対的位置について語句を用いながら説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 小テスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 質問教室

	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> いる。 地球儀や地図など日本の地域構成に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「古代の五畿七道による区分」, 「昔の国の区分」から、現在の都道府県の区分との違いについて読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト プリントの整理
	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成について、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 47都道府県の位置と名前、各県庁所在地の名前、7地方区分の名前と位置を正確に示すことができる。 		
<p>人々の生活と環境 (6～7月)</p>	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然環境や社会的条件から多面的・多角的に考察している。 世界各地の人々の生活の様子とその変容を多面的・多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然環境や社会条件から多面的・多角的に考察することができる。 世界各地の人々の生活の様子とその変容を多面的・多角的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 小テスト 定期考査 ワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 質問教室 小テスト プリントの整理
	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性を、諸資料から読み取り、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性を、分布図や雨温図などの資料から読み取り、まとめることができる。 		
	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然環境や社会的条件から理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然環境や社会的条件から理解できる。 		
<p>世界の諸地域 ①アジア州 (8～9月)</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア州の地域を大観し、その上で多様性と経済発展を主題として設定し、地域的特色を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の多様性と経済発展をもとに多角的・多面的に考察をし、その過程や結果を適切に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 小テスト 定期考査 ワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出者への連絡 質問教室 小テスト プリントの整理
	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア州の地域を大観し、その上で多様性と経済発展を主題として設定し、地域的特色を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読みとったり、図表などにまとめたりすることができる。 		
	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア州の地域を大観し、その上で多様性と経済発展を主題として設定し、地域的特色を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の多様性と経済発展をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 		

世界の諸地域 ②ヨーロッパ州 (9～10月)	1	・ヨーロッパ州の地域を大観し、その上で地域統合を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・ヨーロッパ州の地域統合をもとに多角的・多面的に考察をし、その過程や結果を適切に表現することができる。	・プリント ・小テスト ・定期テスト ・ワーク	・未提出者への連絡 ・質問教室 ・小テスト ・プリントの整理
	1	・ヨーロッパ州の地域を大観し、その上で地域統合を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・ヨーロッパ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとったり図表などにまとめたりすることができる。		
	1	・ヨーロッパ州の地域を大観し、その上で地域統合を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・ヨーロッパ州の地域統合をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。		
世界の諸地域 ③アフリカ州 (11月)	1	・アフリカ州の特色を大観し、その上で人々の暮らしとその変化を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに多角的・多面的に考察をし、その過程や結果を適切に表現することができる。	・プリント ・小テスト ・定期考査 ・ワーク	・未提出者への連絡 ・質問教室 ・小テスト ・プリントの整理
	1	・アフリカ州の特色を大観し、その上で人々の暮らしとその変化を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・アフリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとったり図表などにまとめたりすることができる。		
	1	・アフリカ州の特色を大観し、その上で人々の暮らしとその変化を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。		
世界の諸地域 ④北アメリカ州 (12月)	1	・北アメリカ州の地域を大観し、その上で世界に対する影響力を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・北アメリカ州の世界に対する影響力を多角的・多面的に考察をし、その過程や結果を適切に表現することができる。	・プリント ・小テスト ・定期考査 ・ワーク	・未提出者への連絡 ・質問教室 ・小テスト ・プリントの整理
	1	・北アメリカ州の地域を大観し、その上で世界に対する影響力を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・北アメリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとったり図表などにまとめたりすることができる。		
	1	・北アメリカ州の地域を大観し、その上で世界に対する影響力を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・北アメリカ州の世界に対する影響力をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。		

世界の諸地域 ⑤南アメリカ 州 オセアニア州 (1～3月)	1	・南アメリカ・オセアニア州を大観し、その上で環境や他地域との繋がりを主題として設定し、それぞれの地域的特色を理解する。	・南アメリカ州とオセアニア州の環境と開発を多角的・多面的に考察をし、その過程や結果を適切に表現することができる。	・プリント ・小テスト ・定期考査 ・ワーク	・未提出者への連絡 ・質問教室 ・小テスト ・プリントの整理
	1	・南アメリカ・オセアニア州を大観し、その上で環境や他地域との繋がりを主題として設定し、それぞれの地域的特色を理解する。	・南アメリカ州とオセアニア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとったり図表などにまとめたりすることができる。		
	1	・南アメリカ・オセアニア州を大観し、その上で環境や他地域との繋がりを主題として設定し、それぞれの地域的特色を理解する。	・南アメリカ州とオセアニア州の環境と開発をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。		